

補講課題2

次の画面を作成しなさい、

Web page title (header)

this section is nav.
福岡タワー
糸島
小倉城
櫛田神社
宮地嶺神社

this section is main.
sample 1 title



福岡タワーは、福岡市早良区のシーサイドももち地区にある高さ234mの海浜タワーで、海浜タワーとしては日本一の高さ、福岡のシンボルです。地上123mの展望室からは福岡市街や博多湾の360度パノラマが楽しめ、夜景も「夜景100選」に選ばれるほど絶景で、季節ごとのイルミネーションも人気、カフェやレストランも併設されています。1989年のアジア太平洋博覧会(よかトピア)のモニュメントとして建設され、「ミラーセイル」の愛称で親しまれています。VSCodeで長文の折り返しについては、Alt+Zで折りたたむ。

this section is footer.
copyright 2025 (c) CKGMC

ソースコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="en">
<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
  <title>Document</title>
  <style>
    /* 全てのarticle要素に対しての設定 */
    article{
      /* 非表示の設定 */
      display: none;
    }
    /* 最初の要素の設定；ここまでは全てのarticle要素が非表示になった前提 */
    article:nth-child(1){
      /* 表示の設定 */
      display: block;
    }
  </style>

  <link rel="stylesheet" href="common.css">
</head>
<body>

  <header>
    <h1>Web page title ( header ) </h1>

  </header>
```

```
<nav>
  this section is nav.

  <ul>
    <!--
    リストについては、できるだけ揃えて記述する。
    特にそれぞれの色を変えたいときには、CSSサフィックスnt-child()を使うと名前を省略できる
    あえて生を付けるときはid属性
    -->
    <li>福岡タワー</li>
    <li>糸島</li>
    <li>小倉城</li>
    <li>櫛田神社</li>
    <li>宮地嶽神社</li>

  </ul>
</nav>

<main>
  this section is main.

  <article id="sample1">
    <h2>sample 1 title</h2>
    <!-- 画像とテキストはひとまとめて扱うために、divタグでグループ化 -->
    <div>
      <!-- 画像を入れるのはimgタグ -->
      <!-- 画像のパスがフォルダに入っているときは、「./」から打ち始めるとよい -->
      
      <!-- 画像とセットになる文章はここに入れる -->
      <p>
        福岡タワーは、福岡市早良区のシーサイドももち地区にある高さ234mの海浜タワーで、
        海浜タワーとしては日本一の高さ、福岡のシンボルです。地上123mの展望室からは
        福岡市街や博多湾の360度パノラマが楽しめ、夜景も「夜景100選」に選ばれるほど絶景で、
        季節ごとのイルミネーションも人気、カフェやレストランも併設されています。
        1989年のアジア太平洋博覧会(よかトピア)のモニュメントとして建設され、
        「ミラーセイル」の愛称で親しまれています。
        VSCodeで長文の折り返しについては、Alt+Zで折りたたむ。
      </p>
    </div>
  </article>
  <article id="sample2">
    <h2>sample 2 title</h2>
    <div>
      
      <p>

    </p>
    </div>

  </article>
  <article id="sample3">
    <h2>sample 3 title</h2>
    <div>
      
      <p>

    </p>
    </div>

  </article>
```

```

<article id="sample4">
  <h2>sample 4 title</h2>
  <div>
    
    <p>

  </p>
  </div>

</article>
<article id="sample5">
  <h2>sample 5 title</h2>
  <div>
    
    <p>

  </p>
  </div>

</article>

</main>

<footer>
  this section is footer.<br>
  <small>copyright 2025 (c) CKGMC </small>

</footer>
</body>
</html>

```

ソースコード (common.css)

```

/* 全体 (*) のCSS設定を最初に書く */
*{
  padding: 0;
  margin: 0;
}
/* 定数の定義 */
/* 数字は、様々な部分でそのままの数字を埋め込むと、意味が分からなくなる。
コンピュータで自動生成する以外には、できるだけ定数化する。
基本的に定数は、セクション「:root」の項目に、「定数名:値;」の形で記述する。 */
:root{
  /* 単位%はブラウザの幅なども含めた割合 */
  --nav-ratio: 30%;
  /* 単位vhは、画面の見える範囲についての割合（%相当）
  高さを固定値で作りたいときには、px,exなどの単位を使用する。 */
  --main-vh: 80vh;
  --header-vh: 10vh;
}
/* タグに対する設定は、大きなタグの出てくる順番に書くと整理がしやすい */
body{
  /* bodyタグの子要素はサイズに応じて折り返し配置を行う設定 */
  display: flex;
  /* 横並びで配置し、全体合計が100%に収まらないときは下段に移すという折り返しの設定 */
  flex-wrap: wrap;
}

```

```
header, footer{
    width: 100%;
    background-color: antiquewhite;
}
header{
    /* 定数の参照には、var()を使用する */
    /* 下記では、「height: 10vh;」と同じ意味になる。 */
    height: var(--header-vh);
}

nav{
    width: var(--nav-ratio);
    background-color: bisque;
    height: var(--main-vh) ;
}

nav ul{
    /* 番号なし要素のリストの頭には既定値で「・」が表示されるが、これをなくすこと */
    list-style-type: none;
}

main{
    /* CSSのサイズの計算にはcalc()を使用する */
    /* 右端のナビゲーションのサイズをかけながらページを作るときには、
       計算させると他方を変更しなくてよい。 */
    /* calc()の引数で計算を行うが、その項は空白で区切る方がトラブルが少ない。 */
    width: calc( 100% - var( --nav-ratio) );
    background-color: lightblue;
    height: var(--main-vh);
}

main img{
    width: 40%;
}

footer{
    /* footerをヘッダーの高さとコンテンツの高さを引き算した値で求める。
       この時のブラウザのコンテンツの高さは100vh */
    height: calc( 100vh - var( --header-vh) - var( --main-vh) );
}
```